

3

Once upon a time, there lived a pair of loving mouse parents.

This couple had a lovely daughter named *Chuuko*.

One night, Chuuko's mother said to her father,

"Hey dear, Chuuko is reaching a marriageable age.

Why don't we find her a nice husband?"

"Hmm, I think we should. What kind of man would be good?"

"What about Chuutaro who lives next door?"

"Chuutaro!? No way! We can never give our precious daughter to such an irresponsible man."

"Hm...what should we do...?"



5

"Oh, that's right! Let's have the strongest man in the world marry Chuuko. Chuuko will no doubt be happy with him!"

"That's such a great idea, darling!"

"The world's strongest man...oh, yes! The sun! The sun shines all over the world everyday. No one else can ever do such an incredible thing. I'm sure the sun must be the world's strongest man!"

"Alright, let's go visit the sun tomorrow then!"

Early next morning, the couple climbed up a nearby mountain and shouted to the sun that has just come out,



むかし むかし、あるところに、  
なかのいい ねずみの ふうふが いました。  
この ふうふには『チュウこ』という、  
かわいい むすめが いました。

ある よるのことです。

「ねえ あなた、  
チュウこも そろそろ としごろですし、ここらで  
けっこんあいてを みつけて あげましょうよ」  
「うむ、そうだな。  
いったい どんな おとこが いいだろうか」  
「となりの いえに すむ、  
チュウたろうさん なんて どうかしら？」  
「チュウたろう！？だめだ だめだ。  
あんな たよりない ねずみに、  
うちの むすめは まかせられん」  
「う～ん、どうしましょう・・・」



「そうだ！このせかいで いちばん つよいものに、  
チュウこと けっこんしてもらおう。  
そうすれば、かならず チュウこは  
しあわせに なれるだろう！」

「それは いいかんがえね、あなた！」

「せかいいち つよいものは・・・そうだ、おひさまだ！」

おひさまは まいにち せかいじゅうを  
あかるく てらしている。

こんなことは だれにも まねできない。

きっと、せかいいち つよいものは、  
おひさまのはずだ！」

「わかったわ。それではさっそく あした、  
おひさまの ところに いきましょう！」

よくあさ はやく、

ふたりは ちかくの やまに のぼって、

たったいま かおをだした ばかりの

おひさまに むかって さげびました。

